

## 2023年度事業計画(案)

2023年度としては2022年度に引き続き、法律上ではコロナウイルス感染症分類が指定感染症から新型インフルエンザ等感染症へとウイルス危険度が変更されるとは言え、Withコロナとしてまだまだ不透明な状況である。そうした環境に順応した感染防止対策を継続しつつ、フレキシブルな活動・展開を目指していきます。

また、自然環境変化及び世界中を巻き込んだロシア・ウクライナ紛争など世界情勢の悪化が起因して、原油などのエネルギー価格上昇、あらゆる面の物価高騰を招き、建築資材への影響は計り知れず、混乱終息の見通しも不明瞭で大きな問題になると予想されます。

これらの変化に対応するために環境整備の手助けや、建築積算技術者の育成と技術向上に力を注ぐとともに、関連知識や技術の調査研究を行い、情報を発信する活動によって社会に貢献することが、公益社団法人としての協会の責務と認識しています。

中国四国支部は、このような協会の理念遂行と建設業界の流れに対する窓口として、支部地域の実情に合わせた活動を会員及び建築コスト関連技術者に対し引き続き展開していきます。

尚、昨年来のノウハウを活かしWEB講習会以外にWEB現場見学会も選択肢に入れ、特に両者共々従来の対面形式を加えながら、より一層多方面から参加していただける効果的な活動を展開していきます。

今年度も引き続き人材育成・認定事業、調査研究・情報発信事業及び第三者評価評定・相談事業を通じて、建設の基礎である建築数量積算の重要性と建築コスト技術者の能力向上に努め、建設分野ならびに社会全般に貢献を果たしつつ、会員・資格者へのサービス向上を目指し以下の活動を推進して行きます。

### 会員サービスの向上と、会員の増強

- ・会員を優先とした見学会・研修会や親睦会を開催して、会員交流・情報交換やスキルアップの場を継続的に提供します。  
本部と連携して会員増強施策を立案し、各県部会と協力して実施していきます。
- ・多種多様な職域の建築コスト関連の技術者に対して、有意義な講習会や講演会を開催します。また、その場を活用し協会の活動と会員メリットの紹介を行い広く会員を募集します。
- ・女性会員及び資格者の交流の場である「積女ASSAL」を、常置委員会として正式に組織化したことにより、女性技術者の交流やスキルアップの場を提供し、関連他団体の女子会と共に連携し、女性会員及び女性資格者の増強を図っていきます。
- ・支部報「中四タイムス」、メールマガジンの配信及びホームページとの連携、これらの発信手段をより活用することで会員及び技術者に幅広く、きめ細かくタイムリーな情報の提供と内容の充実を引き続き図ってまいります。
- ・今年度もペリカン大作戦を継続展開してまいります。各県の建築関連団体や教育機関及び公共発注団体を中心に、協会のブランディングと相互協力の確認と推進をおこなってまいります。

## 人材育成事業の推進

### 1) 学校教育

今年度も、引き続き学校訪問を通じて「建築積算」の社会的重要性和当協会の活動内容と実績を説明し「建築積算士補認定校」の新規開拓に努めます。

認定校で建築積算を学ぶ学生に対しフォローアップする手段を検討します。また各教育機関より依頼があれば、まずは「建築積算」についての特別講座など学生に対して建築コスト関連の知識と認識を植え付ける活動をおこなうとともに、学生会員入会の働きかけもおこなってまいります。

認定校でのさらなる講義内容の充実と統一性を向上させるよう、講師間での情報交換や実施校との連携を深める活動をいたします。

### 2) 社会人教育

コストマネジメント技術やその関連知識が本部主導で調査研究され、その成果はPCMシリーズ「ガイドブック」として発行されています。各ガイドブックを活用した全国講習会も行ってまいりましたが、これからは本部によるICT活用による開催や、eラーニング化への移行が検討されています。

当支部は、これにより当地域、各県の実情や需要を熟考し、さらにきめ細かくタイムリーな内容の講習会が各地で開催或いはそれが出来なければWeb講習会を検討し、実施いたします。

「入札時積算数量書活用方式」の広がりに対応すべく、「建築数量積算」についても同様に検討及び講習会を実施していきます。

また、現場見学会や工場見学会を開催して、会員皆様の知識向上と相互交流の機会を継続的に設けていきます。

### 3) 資格認定事業

当協会の資格認定事業は、資格を付与して終わりとする売切り型ではなく、資格者に対し生涯にわたる研修機会や情報提供をおこない、実務における技術・知識の向上をはかり続ける「生涯継続型支援事業」を目指しています。当支部は地域の認定資格者に対して、今後も支部活動を通じてサポートをしてまいります。

建築積算士補は、学校教育（認定校）を通して資格試験が行われます。より多くの学生が合格し士補登録を行い、さらに建築積算士を目指すよう働きかけます。

建築積算士及び建築コスト管理士の資格試験の会場を広島以外、岡山でも設けておりますし、今年度も岡山市に建築積算士の試験会場を設けます。

より多くの方に受験いただくために多様化した建築積算知識を必要とする職種分野に対しての広報と講習会を開催するなど、合格に向けての援助をしていきます。

## 評価評定及び相談事業の推進

当協会が公益法人の社会的使命として推進している第三者評定事業を、当支部としても対応する環境を整備しています。建築コストに関連する諸問題に対して相談を受付け、本部と連携して評価評定事業を推進していく努力をいたします。

「入札時積算数量書活用方式」は国交省が推進しており、各地方自治体などの発注者へ広がりつつあります。公共工事における積算数量について、相談・検証業務のニーズも高まることが想定されます。ペリカン活動を通じ、公共発注機関での採用状況や問題点について把握する意見交換を行う場を設け、評価評定及び相談事業の活用を広く伝えてまいります。

## 支部事業活動の改善と支部財政安定化の検討

人口減少や高齢化といった社会的要因に比例して会員・資格者の減少に伴う協会全体の問題と、人口の大都市圏集中といった地域間格差による影響の当支部地域の問題により、財政的に厳しい支部運営をおこなっています。

このような環境の変化と、本部主導による協会構造の抜本的な見直し策、急速なICT等の普及や導入などにより、本部・支部の役割も変わっていく状況が予測されます。各支部は地域に見合った活動や地域性を踏まえた独自の事業活動を創造して、さらに発展し貢献していくことが求められています。

当支部はこの状況により今後もさらに事業活動を見直し、真に地域に沿った独自の活動と、収支改善につながる施策を同時に展開する努力と継続的検証をおこなってまいります。